



# 六月(小) 水無月 参宿

六月六日芒種の節より  
月命戌午一白水星の月  
暗剣殺北の方

旧四月大  
旧五月小

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	月出入	月出入	満潮	干潮
1日	金	きのえ	九紫	電波の日、写真の日、気象記念日、甲子、相模川他解凍の九星除障始め、甲子、万国郵便連合加盟記念日、旧四月大	十八	先負	あやぶ	鬼	天おん	4.27	18.51	21.03	6.25
2日	土	きのと	八白	金沢加賀百万石まつり(1日~3日)、横浜開港記念日	十九	佛滅	なる	柳	天おん	4.26	18.52	21.48	7.14
3日	日	ひのえ	七赤	広島とうかさ大祭(1日~3日)、危険物安全週間(9日迄)、不成就日	廿	大安	おさん	星	天おん	4.26	18.53	22.30	8.05
4日	月	ひのと	六白	南と口の健康週間、伝教大師忌、一粒万倍日	廿一	赤口	ひらく	張	神よし	4.26	18.53	23.08	8.59
5日	火	つちのえ	五黄	世界環境デー、熱田神宮祭、宇治県神社祭、鶴岡大山大祭、一粒万倍日	廿二	先勝	とづ	翼	五む日	4.26	18.54	23.43	9.54
6日	水	つちのと	四緑	芒種二時二十九分、己巳、一粒万倍日、下弦三時三二分、大つち、一粒万倍日、東京日枝神社山王祭(17日迄)	廿三	友引	とづ	軫	十し	4.25	18.54	10.50	10.17
7日	木	かえう	三碧	東京鳥越神社例大祭(10日迄)、チャグチャグ馬コ	廿四	先負	たつ	角	十し	4.25	18.55	11.47	11.59
8日	金	かのと	二黒	時の記念日	廿五	佛滅	のぞく	亢	大みやう	4.25	18.55	12.45	12.45
9日	土	みづのえ	一白	入梅七時五五分、不成就日	廿六	大安	みつ	氏	神よし	4.25	18.56	13.45	13.45
10日	日	みづのと	九紫	北海道神宮祭、弘法大師誕生会、小つち、三隣亡	廿七	赤口	たいら	房	神よし	4.25	18.57	14.48	14.48
11日	月	きのえ	八白	父の日、奈良率川百合祭、伊勢神宮月次祭、興教大師誕生会	廿八	先勝	さだん	心	ちう日	4.25	18.57	15.53	15.53
12日	火	きのと	七赤	海外移住の日、日端午、一粒万倍日、不成就日	廿九	友引	とる	尾	ちう日	4.25	18.58	16.53	16.53
13日	水	ひのえ	六白	京都鞍馬寺竹伐り会式	三十	先負	やぶる	箕	●	4.25	18.58	17.01	17.01
14日	木	ひのと	五黄	●朔四時四三分、大阪住吉大社御田植神事	朔	大安	あやぶ	斗	大みやう	4.25	18.58	18.04	18.04

春から夏への季節の変わり目がこの月で、太平洋側の高気圧が次第に発達し、日本列島に沿う気圧の谷が通ったり、不連続線が生じたりして雨が降り続くのである。十日前後には「入梅」がある。これは太陽が黄経八十度に達する刻をいう。ちなみに入梅とか梅雨の「梅」が熟することから出ている。

高温多湿であるが、気圧の谷に入ったとき、妙に底冷えのすることがある。食中毒が多発するのがこの月である。細菌の繁殖に最適な気候であり、寒暖に差がある季節だからということがある。たまたま晴れ間を十分活用し、風通し、家具、食器類などの手入れをし、とかく不衛生になりがちな梅雨どきを無事に過ごすよう心掛けよう。

「冠」この月に限ってと言いう行事は別にないで、出

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	月出入	月出入	満潮	干潮
15日	金	つちのえ	四緑	北海道神宮祭、弘法大師誕生会、小つち、三隣亡	二	赤口	なる	牛	母倉	4.25	18.58	19.01	19.01
16日	土	つちのと	三碧	柏崎えんま市	三	先勝	おさん	女	草事七	4.25	18.59	19.01	19.01
17日	日	かえう	二黒	父の日、奈良率川百合祭、伊勢神宮月次祭、興教大師誕生会	四	友引	ひらく	虚	天おん	4.25	18.59	19.01	19.01
18日	月	かのと	一白	海外移住の日、日端午、一粒万倍日、不成就日	五	先負	とづ	危	十し	4.25	18.59	19.01	19.01
19日	火	みづのえ	九紫	桜桃忌、一粒万倍日	六	佛滅	たつ	室	大みやう	4.25	19.00	19.01	19.01
20日	水	みづのと	八白	●上弦一九時五五分、京都鞍馬寺竹伐り会式	七	大安	のぞく	壁	天おん	4.25	19.00	19.01	19.01
21日	木	きのえ	七赤	夏至一九時七分、十方ぐれ入り	八	赤口	みつ	奎	神よし	4.25	19.00	19.01	19.01
22日	金	きのと	六白	●上弦一九時五分、京都鞍馬寺竹伐り会式	九	先勝	たいら	婁	神よし	4.25	19.00	19.01	19.01
23日	土	ひのえ	五黄	沖縄慰霊の日、オリンピックデー	十	友引	さだん	胃	月とく	4.26	19.00	19.01	19.01
24日	日	ひのと	四緑	東京芝愛宕千日詣り、清正公忌	十一	先負	とる	昂	大みやう	4.26	19.00	19.01	19.01
25日	月	つちのえ	三碧	●上弦一九時五分、京都鞍馬寺竹伐り会式	十二	佛滅	やぶる	畢	●	4.26	19.01	19.01	19.01
26日	火	つちのと	二黒	国連憲章調印記念日、不成就日	十三	大安	あやぶ	觜	●	4.26	19.01	19.01	19.01
27日	水	かえう	一白	三隣亡	十四	赤口	なる	参	母倉	4.27	19.01	19.01	19.01
28日	木	かのと	九紫	●望一三時五三分、貿易記念日	十五	先勝	おさん	井	母倉	4.27	19.01	19.01	19.01
29日	金	みづのえ	八白	大はらい、夏越祭、天一天上、一粒万倍日	十六	友引	ひらく	鬼	大みやう	4.28	19.01	19.01	19.01
30日	土	みづのと	七赤	大はらい、夏越祭、天一天上、一粒万倍日	十七	先負	とづ	柳	十し	4.28	19.01	19.01	19.01

産より初誕生日までの行事を整理してみよう。

この世に生をうけた新生児は、産声(うぶごえ)をあげ、産湯につかり、産衣(うぶぎ)につまされる。親戚縁者に無事出産を通知したり、お祝いに餅をついたりする。

生まれて三日目は「三つ目祝い」、五日目を「五夜目」といって祝宴を張るところがある。七日目は「お七夜」といって新生児の名前を披露する儀式がある。出生届けは、生まれた日から十四日以内に市区町村の役所に提出する。

生後三十日前後(土地により多少違)には「お宮詣」といって氏神様の所にお祈り(はらい)をしてもらう。百二十日前後の「お食初め」を終るので、一年目の誕生祝いを終るのである。

【祭】第三日曜日は「父の日」、五月(母の日)と同様、父の働きあつての自分と思えば、父へも感謝をささげるべきである。

二十一日前後は「夏至」。文字からいえば夏の真つ盛り、北半球では昼間が最も長く、夜が短い日である。